

平成28年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名		女性活動推進事業					担当部	教育委員会事務局																						
	会計区分		一般会計		事業類型	一般事業			担当課	まなび創造館																					
	事業期間		平成12年度以前		～	平成31年度以降			担当係	事業係																					
	総合計画 新基本計画	施策等	4 教育文化		17 男女共同参画		2		あらゆる分野への男女共同参画を促進します																						
			重点事業		実施計画事業																										
	予算区分		款	10	項	5	目	10	大	4	中	1																			
	根拠法令・個別計画		男女共同参画社会基本法・女性活躍推進法・小牧市男女共同参画条例・第3次小牧市男女共同参画基本計画																												
	目的	何・誰を対象に	女性及び女性団体																												
		どの様な状態にするのか	団体活動のネットワークの充実と活性化及び女性リーダーの育成・女性の自立を促す。																												
	内容(手段) 目的達成のため どのような事業 を実施したか		<p>◆27年度実施内容</p> <p>○女性活動推進事業 地域活動を通じ、女性問題の解決と各種の地域活動へ男女がともに積極的に参画できるような方途を探り男女共同参画社会形成の一層の推進を図るとともに市内女性団体相互の融和と活性化を図るため、ウィメンズネットこまきに事業を委託した。</p> <p>○男女共同参画週間・国際女性デー名画鑑賞会 男女共同参画社会の形成に向けての条件づくりの一環として視聴覚に訴える素材を活用し、女性と男性の意識改革につながるきっかけづくりとして開催した。</p> <p>○女性の自立支援のためのパソコン講座の実施 女性の社会参加を支援するためのパソコン講座として、就労支援パソコン講座、キャリアアップパソコン講座を開催した。</p> <p>○女性相談事業 女性相談事業として第5を除く毎週水・金曜日に「まなび女性相談」を実施した。また、市民・団体等による協働提案事業として「電話による女性相談事業」を委託し、毎週月・火・木曜日と第5水・金曜日、金曜日夜間に開設した。</p> <p>【直接経費の内訳】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">講師謝礼(402千円)</td> <td style="width: 50%;">女性相談室相談員謝礼(1,900千円)</td> </tr> <tr> <td>旅費(69千円)</td> <td>団体交流室消耗図書(70千円)</td> </tr> <tr> <td>女性活動推進事業委託(658千円)</td> <td>女性相談協働事業委託(3,784千円)</td> </tr> <tr> <td>団体交流室用パソコン借上(139千円)</td> <td>映画フィルム・映写機借上(756千円)</td> </tr> <tr> <td>団体交流室用DVD購入(100千円)</td> <td>女性の会補助金(1,400千円)</td> </tr> </table> <p>◆28年度実施内容</p> <p>○27年度と同様に実施する。</p> <p>【直接経費の内訳】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">講師謝礼(556千円)</td> <td style="width: 50%;">女性相談室相談員謝礼(1,920千円)</td> </tr> <tr> <td>旅費(165千円)</td> <td>団体交流室消耗図書(70千円)</td> </tr> <tr> <td>女性活動推進事業委託(700千円)</td> <td>女性相談協働事業委託(4,232千円)</td> </tr> <tr> <td>団体交流室用パソコン借上(155千円)</td> <td>映画フィルム・映写機借上(800千円)</td> </tr> <tr> <td>団体交流室用DVD購入(100千円)</td> <td>女性の会補助金(950千円)</td> </tr> </table>										講師謝礼(402千円)	女性相談室相談員謝礼(1,900千円)	旅費(69千円)	団体交流室消耗図書(70千円)	女性活動推進事業委託(658千円)	女性相談協働事業委託(3,784千円)	団体交流室用パソコン借上(139千円)	映画フィルム・映写機借上(756千円)	団体交流室用DVD購入(100千円)	女性の会補助金(1,400千円)	講師謝礼(556千円)	女性相談室相談員謝礼(1,920千円)	旅費(165千円)	団体交流室消耗図書(70千円)	女性活動推進事業委託(700千円)	女性相談協働事業委託(4,232千円)	団体交流室用パソコン借上(155千円)	映画フィルム・映写機借上(800千円)	団体交流室用DVD購入(100千円)
講師謝礼(402千円)	女性相談室相談員謝礼(1,900千円)																														
旅費(69千円)	団体交流室消耗図書(70千円)																														
女性活動推進事業委託(658千円)	女性相談協働事業委託(3,784千円)																														
団体交流室用パソコン借上(139千円)	映画フィルム・映写機借上(756千円)																														
団体交流室用DVD購入(100千円)	女性の会補助金(1,400千円)																														
講師謝礼(556千円)	女性相談室相談員謝礼(1,920千円)																														
旅費(165千円)	団体交流室消耗図書(70千円)																														
女性活動推進事業委託(700千円)	女性相談協働事業委託(4,232千円)																														
団体交流室用パソコン借上(155千円)	映画フィルム・映写機借上(800千円)																														
団体交流室用DVD購入(100千円)	女性の会補助金(950千円)																														
受益者負担		有 1講座(1人当たり) 2,000円 受益者負担総額 104,000円																													

コスト			単位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H28予算額
	費用	直接経費		千円	6,014	6,732	9,278
正職員		従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
		人件費	千円	1,100	1,100	1,100	1,100
その他職員		従事者数	人	1.50	1.50	1.50	1.50
		人件費	千円	2,716	2,394	2,394	2,394
費用合計		千円	9,830	10,226	12,772	13,142	
対前年比		%		104.0	124.8	102.8	
財源	一般財源		千円	9,724	10,128	12,668	12,998
	国・県支出金		千円	0	0	0	0
	その他財源		千円	106	98	104	144

業	活動指標名	単位		H25	H26	H27	H28
	支 援・育 成 団 体 等	団 体	目 標		28	28	28
実 績				26	26	27	
ウ ィ メ ン ス ネ ッ ト 加 入 団 体	団 体	目 標		20	17	17	17
		実 績		14	17	12	
績	成 果 指 標 名	単 位		H25	H26	H27	H28
			目 標		400	600	750
女 性 相 談 件 数	件	実 績		589	614	801	
		目 標		970	975	970	970
国 際 女 性 デ ー 等 映 画 鑑 賞 会	人	実 績		929	1,309	1,510	

事業の自己評価	平成27年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		<ul style="list-style-type: none"> ・女性団体構成員の高齢化に伴い、活動が停滞する団体が見られる。 ・相談事業の中で緊急性の高いものについて、関係部署の職員対応が不十分なケースが見られる。 	
	事業を縮小・廃止したときの影響		男女共同参画推進のための女性リーダーの育成・女性の自立を促進することができない。	
	平成28年度の改善内容	28年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	DV対応について関係部署の職員に研修を行う。	
	平成29年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	各団体の目的を超えて、男女共同参画社会を目指した共通目的のために構成されたネットワークは県内でも珍しい。ネットワークの活動が各構成団体の構成員の意識改革につながり、さらに、各団体の活動の中にその意識が取り込まれ、各団体の活動を通して地域や家庭に浸透していく。また、女性の自立支援のためのスキルを身につける講座、女性の相談員による相談事業ともに女性の活躍推進のために必要な事業である。今後も引き続き、女性団体の育成・指導を行い、市民の意識高揚につながる事業の企画立案が必要であるため維持と判断する。		
	29年度以降の改善案	ネットワークの活動内容は年々スキルアップし充実したものとなっているが、女性団体の高齢化は否めないため、女性団体の活力を維持する方策を探り、女性団体のさらなる活性化を図る。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮 小	実施内容の効果を検証するとともに、講座開催事業については、小牧市講座改革検討結果報告書を基に改善に取り組むこと。 また、女性相談事業については、事業費の増加分に応じた相談件数となっていないため、実施結果を検証し事業内容を見直すこと。